※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合「家庭総合」　（実教出版）						
副教材等	生活学 NAVI　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自身の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活や社会につながるよう取り組みましょう。

・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、発表したり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。
・これらの学習を通して、自分や社会の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

２　学習の到達目標

・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭，衣食住，消費や環境など，生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定，解決策を構想・実践，考察するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
・様々な人々と協働し，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	自分らしい生き方と家族	●自立と共生 ・「大人」と自分を比較し，不足している点を考える。 ・青年期の特徴について学ぶ。 ・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。 ●共に生きる家族 ・「家族」の条件とは何か考える。 ・家族のライフイベントについて考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて，家族を支えるしくみについて具体的に考える。	a：・青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 ・結婚，家族・家庭の多様化や，時代とともに変化する役割について理解できる。 b：・図表などから家族の形，家庭のあり方や役割について，また時代とともに変化した背景について読みとることができ，現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め，表現することができる。 ・家族・家庭に関する課題・問題点について，社会的な制度，労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し，解決へ導くための考えをまとめ，討論やレポートを通して発表することができる。 ・家族の変遷や家族に関する意識の変化，さらには，現在の家族の抱える問題・課題などについて，新聞や書籍などから情報を収集し，自らの考えをまとめることができる。 c：男女共同参画社会など，現在の社会的状況について，興味を持って知ろうとする態度がある。 結婚，家族・家庭の形，家族・家庭の役割について，自分とどうかかわっているのか，興味・関心をもとうとしている。	定期考査	レポート ワークシート	レポート

※令和４年度以降入学生用

	高齢者とかかわる	●高齢社会に生きる ・これまでの高齢者とのかかわりを振り返る。 ・高齢社会の現状を知り，身近な問題としてとらえる。 ●高齢者の自立を支える ・要介護の高齢者との接し方を考える。 ・高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 ・高齢者施設で実習し、介助の体験をする。 ・高齢者と家族とのかかわり，経済，社会での活躍などを知り，高齢者における生活の課題について考える。	a:・ 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 ・高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。 ・高齢者の生活における地域社会の役割，地域福祉の重要性について理解できる。 b: ・高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより，高齢者の自立した生活とは何か，自分の考えをまとめることができる。 ・高齢者施設実習で高齢者を知り，高齢者とかかわることで，高齢社会に関する課題を導き出すことができ，それをレポートなどで表現することができる。 c: 介助実習においては，積極的に参加し，高齢者の状況を把握しようとしている。	定期考査	レポート ワークシート 発表	レポート
	食生活をつくる	●私たちの食生活 ・食事調査を通して，各自の食生活の問題点に気づく。 ・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。 ●食品の選び方と安全 ・旬の食材を考え，旬の時期がなぜよいか学ぶ。 ・食品衛生（食品の選択，食中毒，食品添加物）について学ぶ。	a:・食事の意義や役割について，食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 ・旬の食材にはなにがあるか，なぜ旬の食材がよいのかを理解している。 ・食中毒の予防法や，食品添加物の特徴をとらえることで，安全な食品について理解している。 c: 食文化や自分自身の食生活について関心をもつとともに，自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	定期考査	レポート ワークシート	レポート
	ホームプロジェクト	●ホームプロジェクト お弁当づくり ●学校家庭クラブ 老人ホーム実習	a: ・家族の生活時間や，食・衣・住に関すること，ボランティア活動など，自分で関心のあること，また生活から見えてくる課題を探すことができ，それに対する具体的な解決方法を考えることができる。 b: ・自身の活動についてレポートにまとめることができる。	レポート	レポート 発表	レポート

※令和４年度以降入学生用

2	食生活をつくる	●栄養と食品のかかわり ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び，バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り，適切な調理を考える。 ●食事の計画と調理 ・食事摂取基準，食品群別摂取量などを用い，家族の献立作成を行う。 ・調理を通して，基礎的な技術を身につけ，食事マナーを実践する。	a：栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ，それを実際の食生活に生かすことができる。 ・栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら，家族の献立を作成することができる。 ・調理実習を通して，日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ，献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b：・栄養の機能と食品のかかわり，また食品の特性と調理との関係において，科学的な思考を身につけ，食品選択，栄養計算や献立作成など，実際の食事づくりにむけての判断ができる。 ・調理実習において，作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c：・食品と栄養，調理との関係において，科学的な視点をもって，知識を深めようとしている。 ・調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。	定期考査	レポート ワークシート 実技テスト	レポート
	子どもとかかわる	●子どもの生活 ・子どものころを振り返ることで，基本的生活習慣や社会的生活習慣の身につき方を学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活，安全管理について学び，子どもとかかわれるようにする。 ・絵本作りや読み聞かせを通して，子どもの遊びの意義や課題について考える。	a：子どもとの接し方，子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 c：・子どもとふれあう体験学習や，子どものためのおもちゃづくり，お菓子づくりなどの実践活動に，積極的に参加し，子どもの発達の様子や生活に興味・関心をもとうとしている。	定期考査	レポート ワークシート	レポート

※令和４年度以降入学生用

3	子どもとかかわる	●子どもをはぐくむ ・子育て中の親とかかわることで，現代の親子にかかわる課題と，解決の方向性を探る。 ・認定こども園で実際に子どもとふれあう。 ・子育てにかかわる社会的課題について知り，どのようなサポートが必要とされているのか考える。	a:　・生命の尊さ，子育ての意義について理解することができる。 b:　・子どもとふれあう体験学習や，実践活動などについて，目的の設定，体験学習中の判断や学習後の考察などをまとめることができ，また，体験学習の成果や反省などについて，レポートを通して表現することができる。 ・準備，実施，考察・反省まで，体験学習の一連の学習内容をまとめることができる。 c:　・子どもをとりまく状況について，現状を知り，その課題を見つけ，解決に向けて考えようとしている。	定期考査	レポート ワークシート 発表	レポート
	経済的に自立する	●消費生活の現状と課題 ・契約，多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ，早期解決する方法を考える。 ●消費者の権利と責任 ・消費者被害の事例を調べ，消費者の権利と責任を考える。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と，行動のあり方を検討する。	a:　消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき，また契約についての知識を身につけている。 ・消費者の権利と責任などについて理解できるとともに，現代の消費生活の課題について認識できる。 b:　・多様化する販売方法や支払い方法について，問題点や解決策を考え，判断することができる。 ・消費者としての自覚を持ち，消費者の権利と責任を考えることができる。	定期考査	レポート ワークシート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度